いなみ町 議会だより

No.111
2026.10



写真：切目橋渡り初め

Contents

■ 議案に対する各議員の賛否 …… 2ページ
■ 令和８年７月　第２回臨時議会 …… 3ページ
・統合中学校の再入札
・物価高騰対策生活支援
■ 令和８年９月　第３回定例会 …… 4ページ
議案審議
・令和８年９月８日豪雨被害による修繕費の計上
・第2回出会いの架け橋イベント開催の予算を計上
・こども家庭センター費の追加予算を計上
・教育委員会教育長の任命　・人権擁護委員候補者の推薦
■ 一般質問
・谷　　章資　議員 …… 5ページ
・福田　貴啓　議員 …… 6ページ
・榎本　一平　議員 …… 7ページ
■ 文教厚生常任委員会　閉会中の継続調査 …… 8ページ
■ 総務産建常任委員会　閉会中の継続調査 …… 9ページ
■ 印南町４小学校が議場を訪問 ……10ページ
■ 令和７年度印南町一般会計歳入歳出決算の認定 …11ページ
■ 広報特別委員会　町村議会広報研修会に参加 ……12ページ

議案に対する各議員の賛否

○＝賛成　×＝反対

第２回臨時会は７月28日に開会し、議案３件を可決して、同日閉会しました。
第３回定例会は10日開会。議案すべて、可決、承認し、18日に閉会しました。



種類	議案番号	議案内容	榎本	中島	古川	福田	堀口	玉置	前田	谷	木村	片山	黒井
条例	42	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	43	印南町認可地縁団体印鑑条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	44	印南町子ども医療費の支給に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
予算	38	令和8年度印南町一般会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	45	令和8年度印南町一般会計補正予算（第4号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	46	令和8年度印南町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	47	令和8年度印南町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	48	令和8年度印南町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	49	令和8年度印南町滝ノ岡専用水道事業特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	50	令和8年度印南町水道事業会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	52	令和8年度印南町一般会計補正予算（第5号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
人事	51	教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	諮問1	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	諮問2	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	諮問3	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
契約	40	工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
その他	39	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	41	専決処分事項の承認を求めることについて（損害賠償の額の決定及び和解すること）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定	1	令和７年度印南町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	2	令和７年度印南町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	3	令和７年度印南町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	4	令和７年度印南町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	5	令和７年度印南町滝ノ岡専用水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	6	令和７年度印南町同和対策新築家屋貸付金特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	7	令和７年度印南町農業集落排水事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	8	令和７年度印南町水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
報告	3	令和7年度財政健全化判断比率及び資金不足比率について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※議案第38～40号は第2回臨時議会、それ以外第3回定例会　※議長は裁決に加わりません

統合中学校の再入札

令和8年7月22日に印南町統合中学校建設工事の再入札が行われ、工事請負契約が締結されました。

■**契約金額**
45億8，334万8千円

■**契約の相手方**
株式会社 小池組（和歌山市）

■**落札率**　92％

■**工事の概要**
・校舎
鉄筋コンクリート2階建て
・体育館
延べ床面積 2，866㎡
・工期
令和10年2月25日

本議案について左記の質問がありました。

■**質問**
再入札で、何社が入札に参加しましたか。

◆**答弁**
23社を指名し、12社が入札に参加しました。

■**質問**
小池組が入札率92％と聞きましたが、最高入札社との差はどれくらいありましたか。

◆**答弁**
税込みですが最高入札額は50億9，850万円です。ただし、この入札額は設計価格を超過していましたので失格です。

■**質問**
12社の入札で予定価格を超過したのは何社ですか。

◆**答弁**
3社です。

■**質問**
今回の工事請負契約で、国庫補助金、印南町の負担額を教えてください。

◆**答弁**
●町負担額
9億9，028万3千円
●国負担金額
11億2，900万円
●交付金
1億1，700万円
●過疎債
約33億円



物価高騰対策生活支援

町独自の物価高騰対策として710万円を計上し、農業・漁業者・介護・児童福祉施設等へ支援します。

■**質問**
どのような支援金、補助金なのか説明を求めます。

◆**答弁**
●印南町介護等入所施設物価高騰対策支援金
支援金　110万円
燃料費等への支援です。
●印南町認定こども園物価高騰対応支援金
支援金　100万円
給食費の燃料費、食料品費等への支援です。
●印南町漁業者共同利用施設整備事業補助金
支援金　100万円
高効率ポンプを備えた省エネ型蓄養施設への更新、水銀灯からLEDへの更新支援です。
●農業用資材等高騰対策支援事業補助金
支援金　400万円
JAが行っている廃ビニール等の処理事業への支援です。

9月8日豪雨被害による修繕費を計上

令和8年9月8日の豪雨により、町内でも災害が発生しました。

本災害に対して左記の補助金・修繕費が計上されました。

・農地等災害復旧支援事業補助金　3百万円
農地、農道、水路等に流入した土砂の撤去費用です。

・道路河川修繕費　4百万円
河川の土手が崩壊したための修繕です。

第2回出会いの架け橋イベント開催の予算を計上

第1回出会いの架け橋イベントが7月26日に開催され、好評だったため、第2回目の本イベントの予算が計上されました。

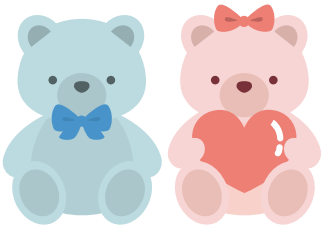
・計上予算　10万円

・開催時期
令和8年12月頃予定

―こんな質問がありました―

質問
第1回本イベントでは、男性15名、女性14名が参加され、8組のカップルが誕生したとのことですが、結婚されることになったときは、町からお祝金等は予定していますか。

答弁
今回の出会いをきっかけに、ご縁が実を結び、本町への定住や地域の活性化につながりますので、町としてお祝金（5万円）をお渡しする予定です。



こども家庭センター費の追加予算を計上

産後ケアの要望が多いため、産後ケア事業の委託料の予算が追加されました。

・追加計上予算　百万円

―こんな質問がありました―

質問
産後ケア委託料として百万円が計上されていますが、どのような内容ですか。

答弁
産後のお母さんの心身のケアやサポートをするために「産後ケア」事業を実施しています。

具体的には、宿泊型として、お母さんと赤ちゃんが宿泊してサポートを受けられます。デイサービス型はお母さんと赤ちゃんが日中（4時間未満）に実施機関でサポートを受けられます。訪問型は、お母さんと赤ちゃんが自宅でサポートを受けられます。

教育委員会教育長の任命

現在の教育長（平尾　潔司氏）の任期が、令和8年10月5日で満了になるため、現職の平尾　潔司氏の再任に同意しました。

なお、任期は令和8年10月6日から3年間です。

人権擁護委員候補者の推薦

現在の人権擁護委員の任期が令和8年12月31日で満了になるため、左記の方々の推薦に対し、「適任」としました。

■推薦された方
土井　佳子　氏
池下　誠志　氏
木村ひとみ　氏

持続可能な町づくりに向けて



谷 章資
議員

質問

全国の自治体では、人口減少、若年層の都市流出、公共施設の新たな活用など課題が深刻化しています。

今後、持続可能な町づくりを進めていくには、町の持つ特性、個性、資源を最大限活用した新しい発想、柔軟な仕組みづくりが必要だと考えます。

印南町において移住促進、雇用創出、公共施設の活用について、現在の施策と課題は何ですか。

答弁　企画産業課長

本町では、移住促進の取組みとして、空き家バンク、若者定住家賃助成や新築助成、未来投資事業、18才までの医療無償化等を実施しています。

公共施設の利活用については、統合後の中学校の跡地を、地域の活性化につながる活用方法を検討するとともに、利用を希望する企業等の模索を続けています。

現在実施している各施策を一体的に発信し移住、定住につなげていく事が重要だと考えています。

質問

応援型ふるさと納税（クラウドファンディング形式）を活用して、これからの課題に対応する取り組みや可能性をお伺いします。

答弁　企画産業課長

応援型ふるさと納税は、自治体が取り組む課題やプロジェクトに対し共感された方から応援の気持ちを込め寄附を頂く仕組みです。

町の資源や特色を生かした独自性のある事業を打ち出し、進めていくなかで、事業内容や寄附を募る効果を見極め、検討してまいります。

質問

今後の町の体制についてお伺いします。

答弁　企画産業課長

今後の体制づくりについては、企画産業課が窓口となり本町の活性化や関係人口の創出につながる取組を進めてまいります。

持続可能な町づくりは、今できる対策を細やかに実施していく事で、印南町の将来像である、「住民とともに築く、希望あふれる郷」に近づけるものだと考えます。



鳥獣害対策について



福田 貴啓
議員

質問

令和7年度、本町における鳥獣害被害額はどれくらいですか。また、近年被害額の推移はどうなっていますか。

答弁　企画産業課長

生産者の営農意欲や農業経営にも影響を及ぼしていると認識しています。

令和7年度、鳥獣害被害額1千23万6千円です。減少傾向にありますが、依然として高い水準で推移している状況です。

質問

サルの農作物被害について、生産者が実施している追っ払い花火の効果もサルが慣れてきたのか一時的なもので効果は少ないです。

令和7年度のサル捕獲計画数150頭に対して15頭。達成率が10%になっています。猟友会の方の車のエンジン音で逃げていくなど、捕獲するのはかなり難しい状況だそうです。

サルを捕獲し、生産者の方々の安定した収益確保の為、日高川町さんが実施しているような大型檻設置に対する助成金のご検討をお願いできませんか。

答弁　企画産業課長

これまでも猟友会や関係機関と連携し、銃猟、箱罠、囲い罠等による捕獲活動を実施し鳥獣被害の軽減に努めています。

地元の方で、お困りの方がいらっしゃったら協力していきたいと思います。

今後、効率的なサルの捕獲方法も研究を進めていきたいと考えています。

質問

イノシシ、シカなどくくり罠等で捕獲した後の処理に現在かなりの労力がかかっているとの事です。

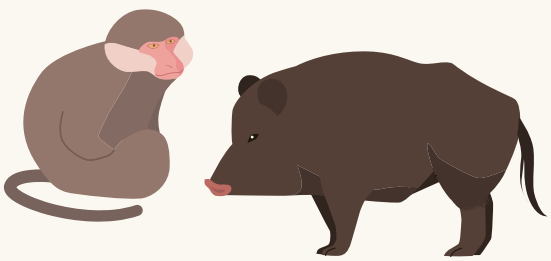
捕獲者の負担を低減させるため埋設処理ではなく、処理場設置をご検討頂けないでしょうか。

答弁　企画産業課長

捕獲したイノシシ、シカ等につきましては捕獲者に適切に処理していただいています。

捕獲後の処理にかかる負担が大きい事が課題であると認識しています。近隣市町との広域的な連携が可能かも検討する必要があると考えています。

現在、鳥獣害防止対策協議会と連携し、大型排水管を利用した残渣処理施設について、近隣施設の視察や設置場所の検討などを行い設置の可能性について検討しています。



豪雨災害の被害想定を問う



榎本 一平
議員

質問
豪雨をもたらす気象になれば、道路の冠水、家屋の床下・床上浸水等の被害が発生する、また発生するであろうと想定する箇所はどこになると考えていますか。

答弁　総務課長
内水による浸水地域として印南小学校、公民館、Aコープ周辺、印南鉄工所付近、切目では島田幹線から国道42号線までの間の3か所が挙げられます。
洪水は、印南川、切目川の氾濫の場合、流域で広く浸水が想定されています。

質問
9月8日の集中豪雨時、何人かの住民の方から、「役場からAコープに向けて降りてくる道路の雨量がすごかった」と聞きました。
かえる橋の排水能力の点検が必要ではないですか。

答弁　建設課長
かえる小橋の庁舎よりに横断側溝を設置し、地方地区などに流れていかないように対策を取っています。
しかし、一時的な大雨に対し現在の道路側溝で能力が足りないことも認識していますので、検討していきたい。



クビアカツヤカミキリ問題を問う

質問
この問題で、一つ前進面がありました。改植と新しい苗を植え付ける時の補助金について、今までは両方の対応はできませんでしたが、この制度が改善されました。
この新しい制度について、県を通じ町に届いていますか。関係者にも通知はできていますか。

答弁　企画産業課長
果樹経営支援対策事業の仕組みでは今までは、両方使えなかったのですが、今後は両方活用できる旨の通知は来ています。

質問
この害虫の被害がどんどんと広がっています。被害を広げないためには、県と町だけの対応には限界があります。
クビアカツヤカミキリは植物防疫法第17条の対象となっていないため緊急防除の策もとれません。
対象となるよう強く国に要望をしてください。

答弁　企画産業課長
被害拡大の状況、防除効果等を踏まえ対策を講じるように要望していきます。

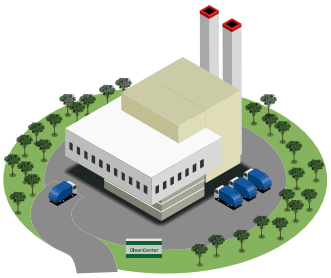
令和8年4月から本格稼働している御坊クリーンセンターを視察し、し尿、浄化槽汚泥を適切に処理するとともに、資源として有効活用する先進的な取り組みについて説明を受けました。

■開催日
令和8年7月8日

■開催場所
御坊クリーンセンター
（御坊市熊野1282）

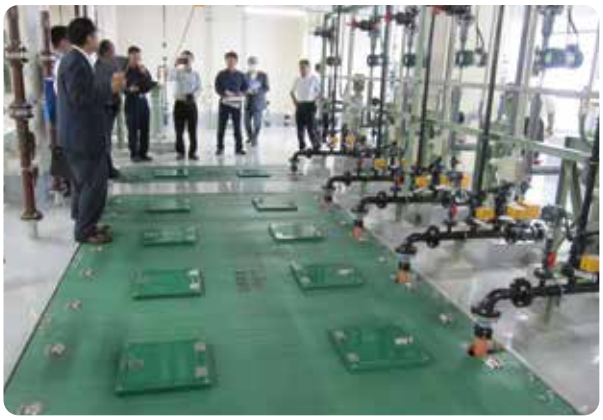
■説明者
管理課長、センター長
ほか職員4名

御坊クリーンセンターは旧施設の老朽化が著しくなったため、最新の水処理技術を採用した施設になっています。



本施設の処理手順

ビニールなどのし尿以外のものの取り除き
◀
脱水・脱臭　水処理
◀
固形物の生成
◀
清掃センターで焼却
（処理水は河川に放流）



■特徴
・「低動力型高効率遠心脱水機」導入による脱水運転の安定化。
・「セラミック膜」採用による膜分離装置の耐久性や安定性の向上。

■処理能力
日量　122KL

■水処理
生物的脱窒素処理＋高度処理方式で水質の安全性を高め、活性炭などを用いて臭気・有機物を除去している。

■資源化
汚泥助燃材化（助燃材含水率70％以下）
汚泥を助燃材化することで、焼却施設で燃料として有効利用することで、廃棄物の軽量化と資源化を図っている。

研修を終えて

今回の視察を通じ、し尿処理施設は、単なる廃棄物処理施設ではなく、環境保全と資源循環を支える重要な社会基盤であることを再認識しました。

今後、印南町においても、将来の人口動態や施設の維持管理、経費、環境負荷などを総合的に考慮し、持続可能な汚泥処理・資源化のあり方について、委員会で調査・検討していきます。



総務産建常任委員会

閉会中の継続調査（移動困難者の交通手段について）

前田 憲男（委員長）・玉置 克彦（副委員長）・榎本 一平・中島　洋・谷　章資・黒井 美晴

住民の移動困難の交通手段として調査をしていくなかで、太地町では町営循環バスと自動運転サービスのスモールカーで町民の移動を無料で実施していることを知り、今回の研修となりました。

■開催日
令和8年8月18日
■開催場所
国際鯨類施設（太地町）
■説明者
太地町総務課



町営循環バス

平成12年に公共交通が撤退し、町営で循環バスを走らせるようになりました。
一律100円だった料金が令和5年から無料化しています。
バス停はあるものの、どこからでも乗降できます。
私達が利用したときは、学生や観光に来られた方々で満員でした。
また、スマートフォンで運行位置の情報等が確認できるようになっています。



自動運転サービスのスモールカー



道路の真ん中に見える黒いラインが自動運転用の磁気を埋め込んでいるところです。
現在は、運転手が乗車しての運行となっています。
軽自動車で走れそうに見えるのですが、道幅1・5mから1・8mで直角に曲がった道路が多く、軽自動車でも通行できません。
そのような道路をより小さなスモールカーが、3・2kmにわたってスーパーや病院を経由しながら周回しています。

研修を終えて

今回、視察させて頂いた太地町は、捕鯨で有名な港町で、狭い道路があります。
スモールカーでの移動は、港町ならではの取り組みと感じました。
町内でも一部の該当する地域では実現可能と感じました。
また、循環バスとスモールカーの取り組みによる町のアンケートから、高齢者の50％余りの方が外出の機会が増えたと答えています。
健康増進にもつながっています。
私達も移動について考え直す時期が来ていると感じました。



印南町４小学校が議場を訪問

印南町教育研究会（岡本健司会長）の小学校3年部会が、「わたしたちのまちのようす」などの学習として印南町議会議場を訪問し、議会の仕組みについて説明を受けました。

その後、議場で質問体験を行いました。

■訪問日　令和8年9月7日

こんな質問がありました

■質問
役場で働いている人は何人ですか。

◆答弁
85人です。町長・副町長・教育長を含めなければ82人です。

■質問
一番大変な仕事は何ですか。

◆答弁
いろんな考え方があるので、みんなの意見をまとめていくことが、一番大変です。

■質問
印南町を訪れる観光客は何人くらいですか。

◆答弁
約57万人です。印南町に住んでいる人のおよそ77倍の人が来ています。

■質問
印南町のキャラクターは、なぜカエルなのですか。

◆答弁
町の発展を願って「変化し、とびはねるもの（飛躍）」としてカエルをイメージキャラクターに決めました。




議 場


稲原小学校


切目小学校


清流小学校


印南小学校


印南小学校

※掲載は訪問順です

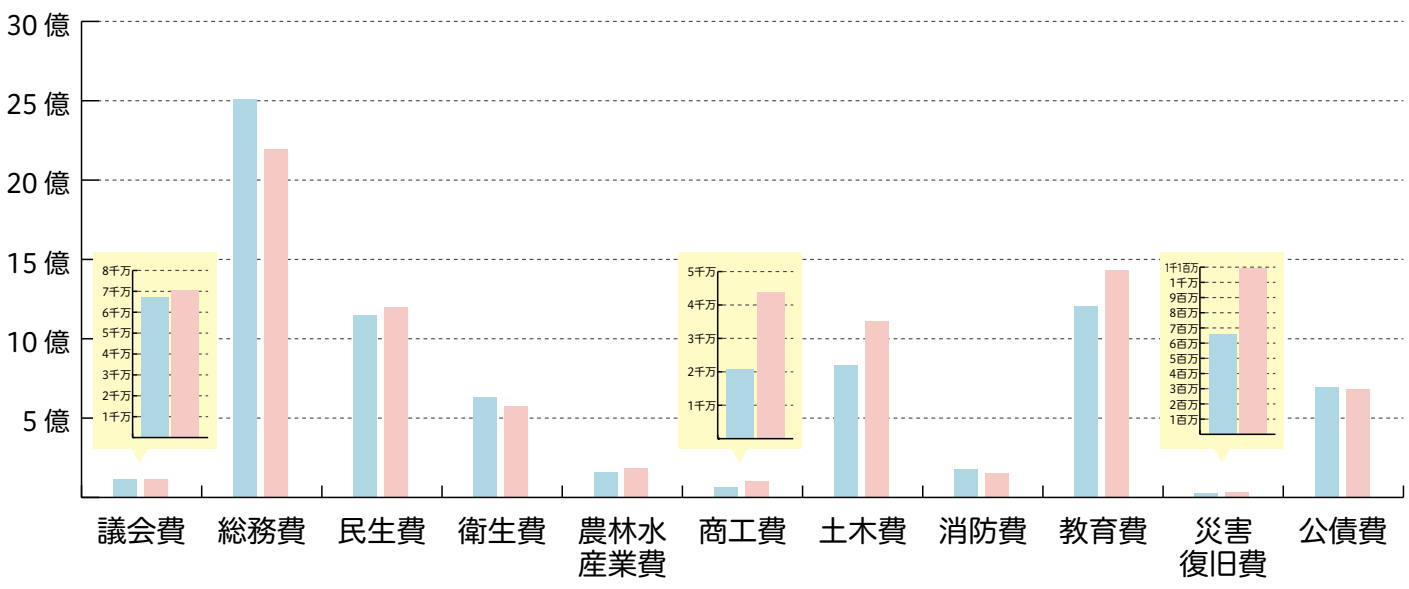
令和７年度印南町一般会計歳入歳出決算の認定

■ 令和７年度・令和６年度比較表

単位：円

	令和７年度	令和６年度	差　額
議　会　費	67,190,678	70,492,578	△3,301,900
総　務　費	2,511,636,826	2,196,423,951	315,212,875
民　生　費	1,151,847,386	1,198,793,943	△46,946,557
衛　生　費	635,608,915	574,924,410	60,684,505
農林水産業費	161,773,778	175,680,360	△13,906,582
商　工　費	20,715,886	43,965,445	△23,249,559
土　木　費	832,712,368	1,114,536,325	△281,823,957
消　防　費	176,887,575	174,980,809	1,906,766
教　育　費	1,203,603,694	1,436,090,151	△232,486,457
災害復旧費	6,582,401	10,935,091	△4,352,690
公　債　費	694,468,214	685,620,847	8,847,367
合　計	7,463,027,721	7,682,443,910	△219,416,189

■ 令和７年度・令和６年度比較グラフ



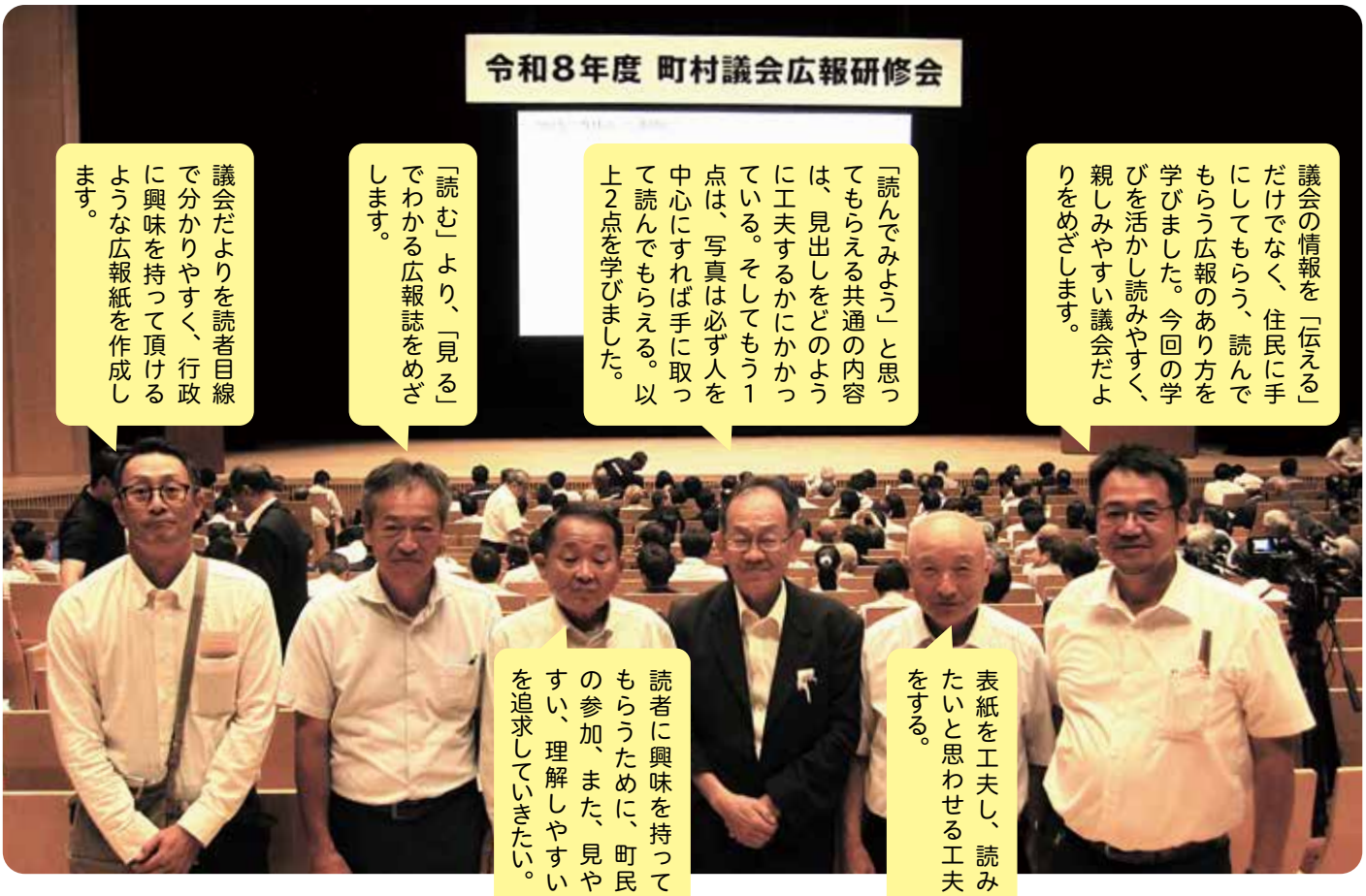
令和７年度一般会計歳入歳出決算は、歳入総額 77 億 595 万 2 千円から、歳出総額 74 億 630 万 2 千円と繰越明許費 5,033 万 9 千円を差し引いた実質収支額 1 億 9,258 万 5 千円で、黒字決算でありました。総務費の増加は、主に企画費、物価高騰対策生活支援事業などの増額によるもの、土木費の減少は、主に道路橋梁費、地籍調査事業などの減額によるもの、教育費の減少は、主に統合中学校建設事業費などの減額によるものです。

町村議会広報研修会に参加

町村議会広報研修会は、全国町村議会議長会が主催し、町村議会広報の例を参考にして、見せ方、書き方などについて講義されました。

本研修会に印南町の広報特別委員会も参加しました。

■開催日
令和8年8月28日
■開催場所
渋谷公会堂
■説明者
村田　大地　氏
自治体・議会広報アドバイザー
丘村　奈央子氏
インタビューライター
橋本　欣一　氏
山形県川西町議会公聴広報
常任委員会　委員長



研修を終えて

今回の研修会では、読者に読みたいと思わせる手法が多く紹介され、今後の議会だより作成の改善ポイントを教えられた。

・表紙の写真は人を中心に考える。
・見てみたいと思わせる表紙のレイアウトを考える。
・文書はポイントをつかみやすいようにフォント、文字サイズを考える。
・写真は見るだけで状況を理解させることができるが、載せすぎないように考える。

今後は、以上のポイントに重点をおき、より町民に親しみやすい広報誌にしていきたい。

発行：印南町議会　編集：印南町議会広報特別委員会
〒649-1534 和歌山県日高郡印南町印南 2570
TEL 42-1739　FAX 42-8055